

ムンプス難聴症例の全国実態調査に関する情報公開

1. 研究の対象

平成 27 年 1 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日に当院耳鼻いんこう科を受診された流行性耳下腺炎に伴う難聴（ムンプス難聴）に罹患された方が本研究の対象者です。

2. 研究目的・方法

流行性耳下腺炎はムンプスウイルスの感染により発症する疾患です。流行性耳下腺炎に罹患すると、数百人から千人に一人の割合で回復不能な高度難聴であるムンプス難聴を発症することは世間一般には十分に知られていません。ムンプス予防接種は任意であるため接種率は 30～40%と低いのが現状であり、結果として、近年の流行性耳下腺炎蔓延につながり、ムンプス難聴患者の増加が予想されています。そのため、流行性耳下腺炎に伴うムンプス難聴の全国調査を行う事によりムンプス難聴の実態を明らかにし、ムンプス予防接種の定期接種化を訴えるための基礎的資料作成につなげたいと考えております。日本耳鼻咽喉科学会と関連した耳鼻咽喉科医が勤務する全国 8000 施設にて、H27 年 1 月 1 日から H28 年 12 月 31 日までの期間に診察したムンプス難聴患者様を対象に、聴力や治療結果等の情報を収集することにより、全国的なムンプス難聴調査を実施します。名古屋大学からは 4 名の患者様の情報を提供する予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテ上から、性別、年齢、難聴の程度、合併症状である耳鳴り・めまい・頭痛・耳下腺腫脹の有無、治療方法、治療結果などの情報を、匿名化された専用の記載用紙に記入する形で収集します。研究分担者である杉本賢文が名古屋大学における情報収集を担当し、個人情報管理者は研究責任者である曾根三千彦が担当します。

4. 外部への試料・情報の提供

情報収集に用いた匿名化済みの専用記載用紙を、研究事務局へ郵送し情報提供致します。研究事務局では研究代表者である守本倫子が個人情報管理を実施します。全国から集めた匿名化済みの情報を研究事務局や日本耳鼻咽喉科学会の担当者が分析することにより、本邦におけるムンプス難聴の実態把握を行います。一般社会へのムンプス難聴啓蒙活動や、ムンプス予防接種の定期接種化を求めていくための基礎資料作成のため、得られた分析結果を利用する予定です。収集された情報は 5 年間保管された後、廃棄されます。

5. 研究組織

研究代表者

成育医療センター 耳鼻咽喉科 守本 倫子

共同研究施設

日本耳鼻咽喉科学会と関連した耳鼻咽喉科医が所属する全国 8000 施設

日本耳鼻咽喉科学会ホームページ

<http://www.jibika.or.jp/index.html>

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。本研究対象者の方、又はその代理人の方から下記連絡先まで御連絡頂ければ、情報収集及び研究代表施設への情報提供の中止や、収集情報の破棄も可能です。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8550 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 名古屋大学耳鼻咽喉科学教室

Tel 052-744-2323

名古屋大学医学部附属病院 耳鼻いんこう科 杉本 賢文

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 耳鼻いんこう科 曾根 三千彦

研究代表者：

成育医療センター 耳鼻咽喉科 守本 倫子